

EVEREST VOLCAN スピードシンタリング

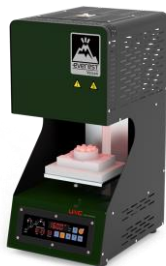
*【形状・構造及び原理等】

1. 構成

- 1) シンタリングファーンネス本体
- 2) シンタリングトレイ
- 3) FAST シンタリングトレイ
- 4) レギュラーシンタリングリッド
- 5) レギュラーシンタリングプレート
- 6) 冷却トレイ
- 7) ジルコニア ピーズ

2. 形状 (シンタリングファーンネス本体)

1) タイプ 1



2) タイプ 2



3. 寸法

1) タイプ 1

幅 270mm×奥行 335mm×高さ 565mm
(炉内寸法：φ100mm×80mm)

2) タイプ 2

幅 300mm×奥行 400mm×高さ 640mm
(炉内寸法：φ100mm×80mm)

4. 電気的定格

電源電圧	AC220V 50/60 Hz
電源入力	15A

5. 原理

プログラムにより電子的にファーンネス内の温度、時間等を自動的に調整する。ファーンネス内をタイプ1は最大1600℃、タイプ2は最大1550℃に加熱することによって配置されたポーセレンを焼成する。

【使用目的又は効果】

歯科用セラミックス等のポーセレン材料を焼成するために歯科技工で用いること。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

- 1) シンタリングファーンネス本体の電源コードを商用電源に接続する。
- 2) ファーンネスや断熱材に異常が無いことを確認する。
- 3) 電力を投入し、ディスプレイのタッチパネルが正しく作動することを確認する。

2. 使用中の操作

- 1) 焼成時間、焼成温度等の焼成条件を選択する。新たな焼成条件を設定したい場合は、ディスプレイのタッチパネルで入力を行う。
- 2) ディスプレイのスタートボタンを押して焼成を開始する。

3. 使用後の処置

- 1) シンタリングファーンネス本体の電源をシャットダウンする。
- 2) 清掃を行う。

<使用方法に関連する使用上の注意>

1. 以下の条件で使用する。温度：2～35℃
湿度：80%未満
高度：3800m 未満
室内で使用する。2. 焼成中、又は焼成直後はファーンネスに触れないこと。特にファーンネス上部は高温となっており火傷の危険性がある。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

1. 金属、可燃性の液体、薬剤、粉末等を本品の近くに置かないこと。火災の原因となる恐れがある。
2. 電源ケーブルを曲げたり傷つけたりしないこと。
3. 接地を行うこと。
4. 電源プラグが適切な部分にしっかりと差し込まれていることを確認すること。接続が不十分であると、火災の原因になる恐れがある。
5. ファーンネスのドアを開けた状態でユニットを取り扱うときは、必ず厚手の断熱手袋を着用すること。
6. 作業開始前には、ファーンネス本体が完全に停止していることを必ず確認し、プログラムのサイクル中でない場合のみドアを操作とすること。
7. 電源プラグに触れたり、手で触れたりしないこと、感電や火災の原因になる恐れがある。
8. 炉内からキャストリングを取り出す場合は、ワイヤーに触れないようにトングを使用して慎重に行うこと。
9. 急速焼結スケジュールでの使用は、オペレーターがいる場合にのみ使用すること。
10. 急速焼結スケジュールでは、レギュラートレイを使用しないこと。火災やファーンネスの損傷の可能性がある。
11. メーカーからサポートされているシンタリングトレイを使用すること。規定外のサイズのトレイを使用すると、発熱体が損傷する場合がある。
12. 運転中のファーンネスは高温となるため、ファーンネスから離れること。
13. 損傷を避けるため、ファーンネスは慎重に取り扱うこと。
14. 使用中に異常を発見した場合、使用を中止し、メーカーに問い合わせること。
15. ファーンネスを使用しないときはスイッチを OFF にして電源を切ること。
16. ファーンネスをしばらく使用しないときは、電源プラグを引き抜いておくこと。
17. ファーンネスを高温で連続使用すると、ガラス材料が破損し、材料を汚染する可能性がある。汚染された材料を取り除くには、エアークンプレッサーは使用せず、掃除機のみを使用すること。
18. 焼結後のトレイを取り出す場合は、炉内温度が 100℃以下になるまで待つ、取り出すこと。温度が下がっていない状態で作業を進めようと、トレイの損傷や火傷の原因になる恐れがある。

【保管方法及び有効期間等】

1. 設置方法に関連する注意

- 1) 設置場所の電力供給能力によっては、サーキットブレーカの追加が必要となる場合がある。必要に応じて、設置する際に電気技術者に相談すること。
- 2) 振動や電磁波の影響を受けない場所に設置すること。
- 3) 本体左右にあるファンを塞がないようすること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- 4) 設置場所にスプリンクラーや消火器などの消火設備を設けること。
- 5) 狭い密室などの換気が困難な場所に設置しないこと。
- 6) 本品を移動する際は、直立した状態で行い振動を与えないこと。ファーンレス内のヒータや断熱材が破損する可能性がある。
- 7) 急激な温度変化がある場所には設置しないこと。
- 8) 高電圧の使用場所や電圧変動のある場所には設置しないこと。
- 9) 直射日光の当たる場所やほこりの多い場所に置かないこと。
- 10) 乾燥した場所で保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 詳細な保守・清掃に関する事項は取扱説明書を参照すること。
2. 保守・点検に関連する注意
 - 1) ベンジン、シンナー、アルコールなどの可燃性溶剤を清掃に使用しないこと（火災の原因となる）。
 - 2) 長期間使用しない場合は、電源を切り、電源ケーブルを抜くこと。
 - 3) 製品の分解、改造、修理を行わないこと。
 - 4) 清掃時は乾いた布を使用し、洗剤は一切使用しないこと。
 - 5) 定期的に炉内の点検を行うこと。発熱体の酸化膜が損傷、またはジルコニア材料が汚染されている場合は、クリーニングモードで汚れを落とすこと。ただし、クリーニングモードの使用頻度が高すぎると発熱体等に損傷を与えてしまう場合がある。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社フォレスト・ワン

電話：047-474-8105

製造業者：U&C International Co., Ltd.

ユーアンドシーインターナショナル（大韓民国）

取扱説明書を必ずご参照ください。